

たねや・クラブハリエにおける取引業者様との対話「100企業」達成

たねやグループではお菓子を通じご縁を結んだ皆様と持続可能な社会の実現を目指し、2021年8月に「サプライヤー取引に関する方針」を策定しました。

たねや・クラブハリエにおけるサプライヤー取引に関する方針

<https://taneya.jp/sustainability/nature/pdf/supplier.pdf>

原材料を生産いただく農家さんをはじめ、お菓子を包む包材や箱を製造くださる方々、多くの取引業者様のご協力があり安心して安全、健康を大切にしてお菓子作りが実現できます。しかし、今の社会には環境問題や福祉、貧困、教育のような様々な課題がありお菓子にかかわる私たちもみんなで課題に向き合い持続可能な社会の実現に取り組む必要があります。そのような想いで私たち生産管理室では2022年4月から取引業者様に訪問し法令遵守、人権と労働環境、品質や安全に対する考えや私たちのフードロス削減、温室効果ガス排出抑制、資源循環の取り組みや生物多様性を豊かにする農業へのかかわり、伝統文化の継承の活動をお伝えし、各社様のお取り組みや方針の共有を進めこの度100社の取引業者様との対話を達成しました。

その中で、取引業者様と共に社会課題の解決を進める事例を紹介します。

お菓子の品質、安心安全を保つために欠かせないものの一つにお菓子を包む包材があります。包材は、個々の商品に対して必要な強度、バリエーションなどが異なるため様々な素材の提案をいただきます。素材には、原料の調達から廃棄までの一連のプロセスにおいて、環境や生物などに配慮がされている、再生可能な資源を利用したサステナブル素材（紙素材・植物由来の生分解性素材・再生素材など）があります。

サステナブル素材は価格が高いことや、特定の機能性が従来の素材に劣ることがあり自社では採用する機会が少なく、取引業者様から提案されることも少ないです。しかし、サステナブル素材に積極的にかかわらなければ私たちの求める機能性や価格を実現することはできません。

対話の中で、今まで採用したことのない植物由来の生分解性素材であるバイオマス100%トレーを使用したい旨をお伝えし、素材の機能性や製造・廃棄に関する環境へのメリットについて詳しく教えていただきました。ご提案いただいた素材には、強度面や色味などの課題がありその場では採用には至りませんでしたが取引業者様のラボにて改良に精力的に取り組んでいただけることとなりました。

仕入れの担当者として私の役割は取引業者様にご協力いただくだけではありません。社内において素材の選定の基準にコストや機能性だけでなく社会課題を解決する視点を浸透さ

せ、その結果得られる未来を明確に発信し、採用につなげることです。

私たちが目指すところは取引業者様と健全な関係を築き、課題の解決へ真摯に取り組むことです。地域社会と深くつながり次の世代に自然の美しさ、豊かさを伝えていくために引き続き取引業者様との対話を重ね、共に行動してまいります。

2026,1 作成